

## 2025 年度卒業・修了時アンケート調査結果報告

### 【調査概要】

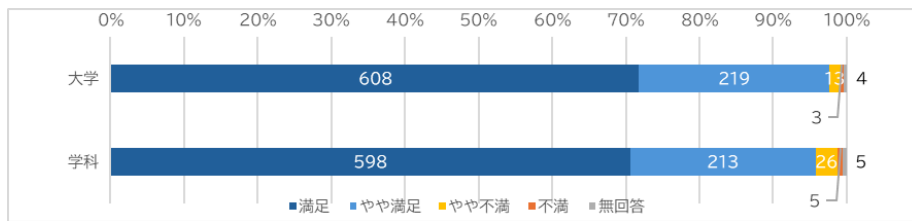
#### ■ 調査の方法

調査対象	2025 年度学部卒業生・大学院修了生
調査期間	2026 年 3 月 13 日
調査方法	アンケート用紙
回収状況	対象者数:1,190 (学部生:999 大学院生:191) 回答数:1,001 (学部生:847 大学院生:164) 回収率:84.1% (学部生:84.8%大学院生:85.9%)※前年度 82.3%

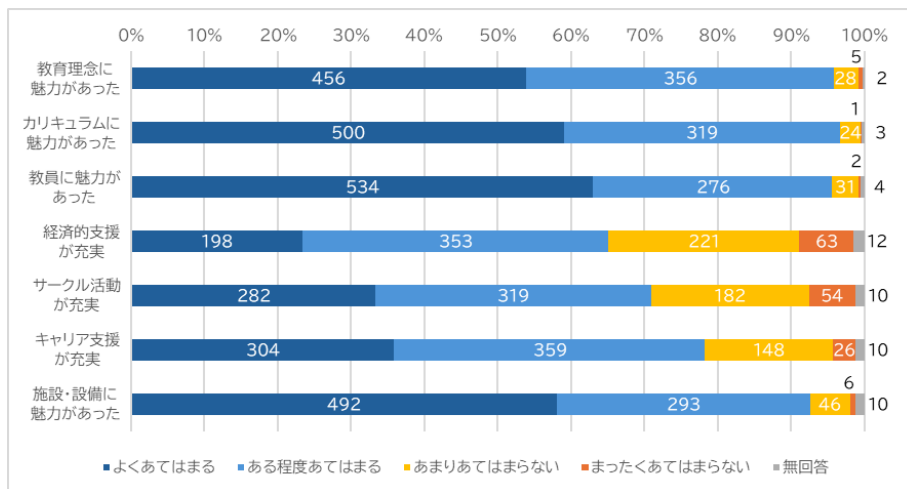
### 集計結果

1. 大学への満足度や、卒業学科・修了コースへの満足度について  
「満足」「やや満足」の回答が 90%以上あった。
2. 大学や学科・コースの魅力について  
90%以上の学生が「教育理念」「カリキュラム」「教員」「施設・設備」に魅力があったと回答した。一方で「経済的支援」「サークル活動支援」の充実度は 70%程度、「キャリア支援」について充実していたと回答した学生は 75%程度であった。
3. 建学の精神・教育理念、3 ポリシーについて  
学部生の認知度は 40%~60%程度、大学院生の認知度は 65%~70%程度であった。
4. 身についたと思う点について  
90%程度の学生が「専門分野に関する知識・理解」「文献・資料・データを収集する力」「ものごとを分析的・批判的に考える力」「問題をみつけ、解決方法を考える力」「幅広い知識、ものの見方」が身に付いたと回答した。  
  
「論理的に文章を書く力」「人にわかりやすく話す力」は 75%~80%程度であった。
5. 学修・学生生活で注力した点について  
「専門的能力を追求」「専攻以外の領域を学ぶ」「広く諸学問を学ぶ」の学修に関する注力が高かった。「キャリア形成」については 60%程度、「国際交流」「社会貢献」などの活動は、学部生よりも大学院生の方が注力した割合が高い結果になった。

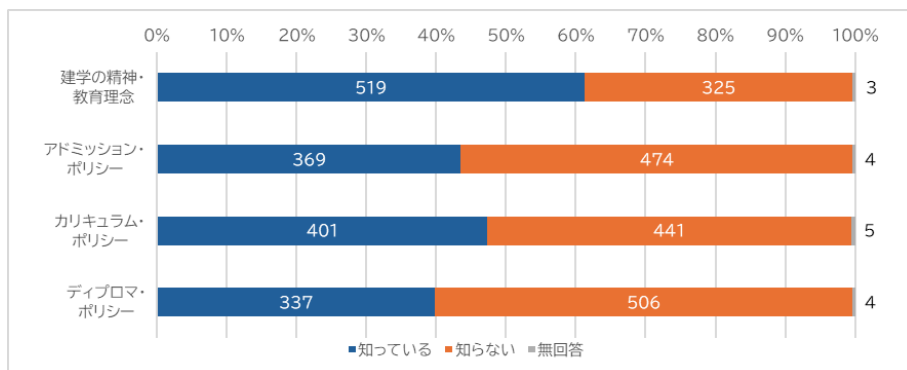
1～2. 武蔵野美術大学、卒業学科(専攻)に満足していますか。【学部】



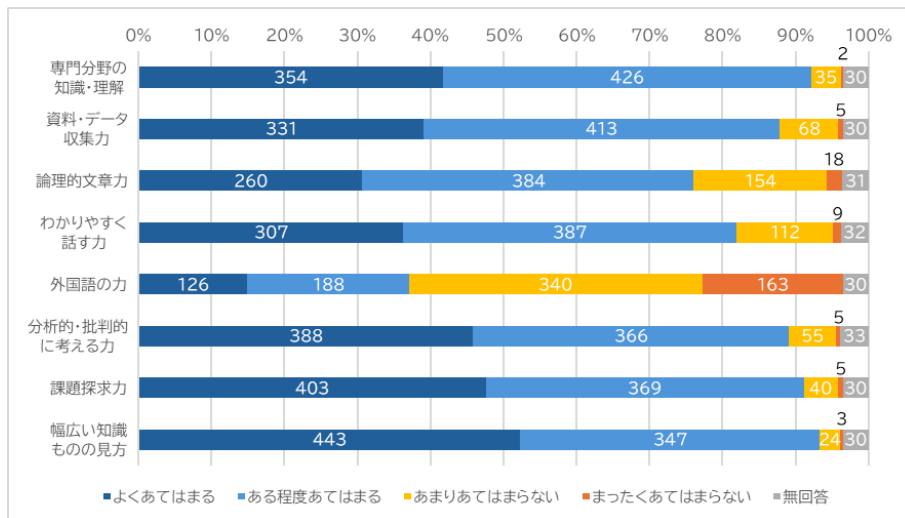
3. 武蔵野美術大学、卒業学科(専攻)について、どのように感じていますか。【学部】



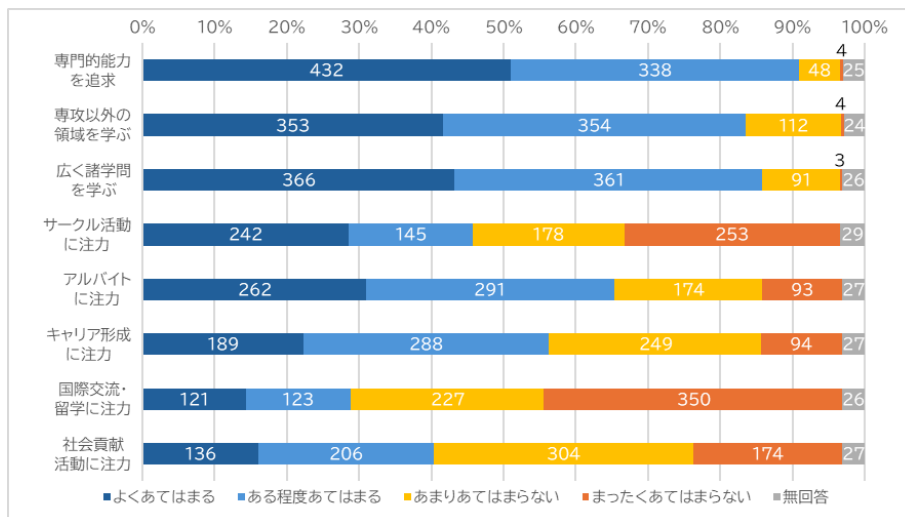
4～7. 武蔵野美術大学の建学の精神・教育理念、3ポリシーを知っていますか。【学部】



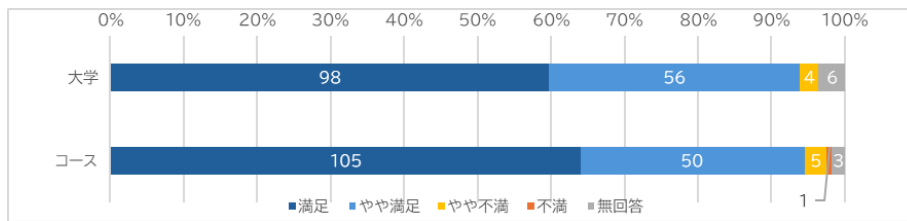
### 8. 次の点について、どのくらい身についたと思いますか。【学部】



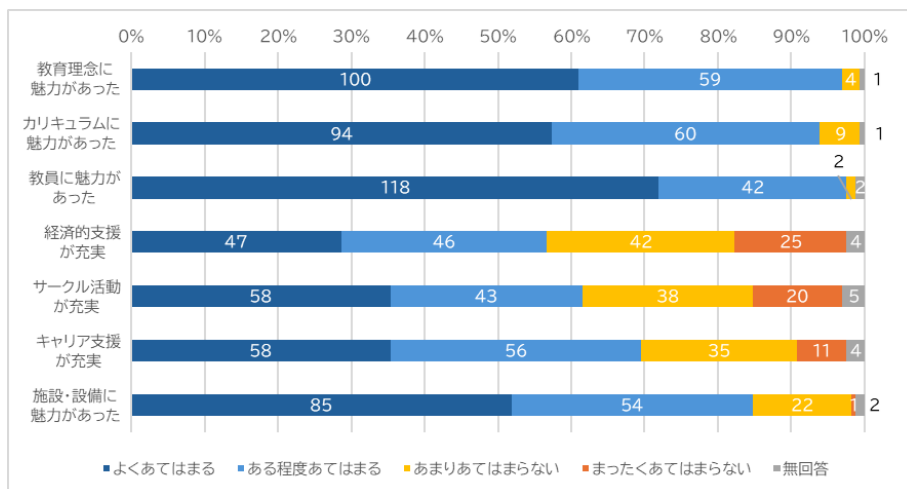
### 9. 学修・学生生活についてどのように感じていますか。【学部】



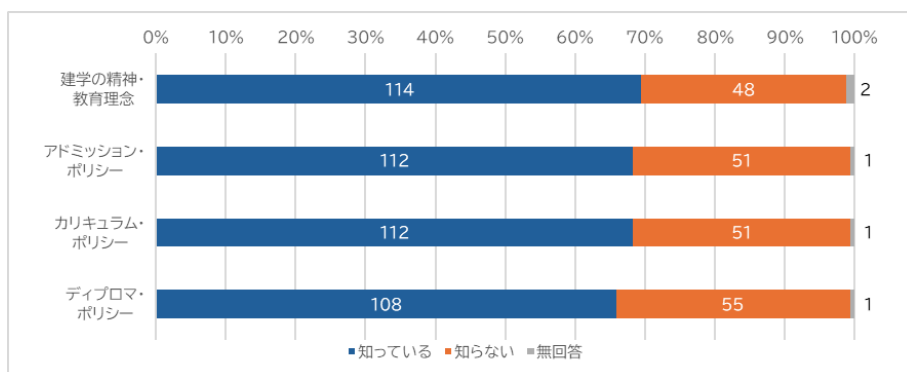
1～2. 武蔵野美術大学、修了コースに満足していますか。【大学院】



3. 武蔵野美術大学、修了コースについて、どのように感じていますか。【大学院】



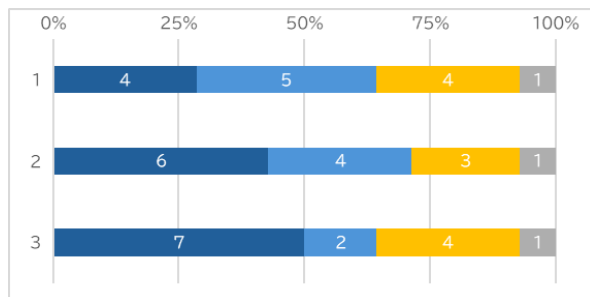
4～7. 武蔵野美術大学の建学の精神・教育理念、3ポリシーを知っていますか。【大学院】



## 8. 次の点について、どのくらい身についたと思いますか。【大学院】

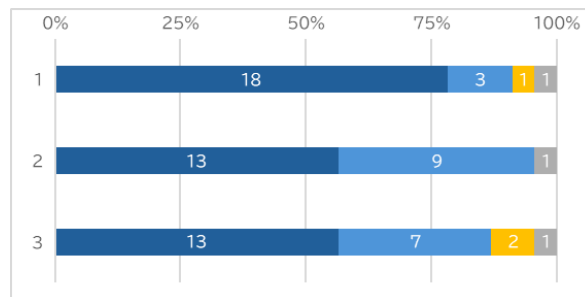
■よくあてはまる ■ある程度あてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない ■無回答

### 日本画コース



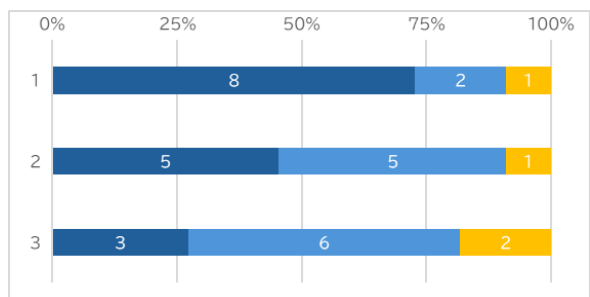
1. 表現に対応した技術をもち、それを十分に深める力
2. 自己の表現について主体的に取り組み、理論的にプレゼンテーションする力
3. 歴史や社会との関わりのなかで自己の表現の意味を考える力

### 油絵コース



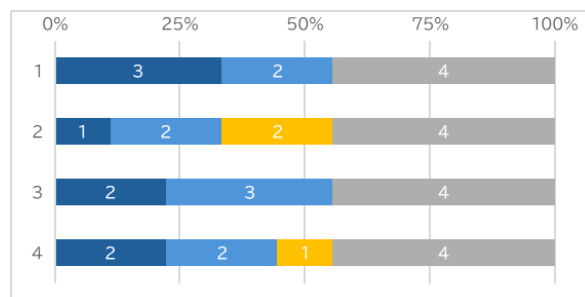
1. 主体的に作品制作に取り組み、美術作家として質の高い独自な表現を身につけること
2. 絵画を中心とした美術史・美術理論に幅広い知識を有し、それを踏まえた観点から作品制作者としてのみならず、批評性を有した作品鑑賞者としても柔軟に美術を捉える力
3. 自らの作品制作を通じて様々な社会状況と有機的な関わりを模索し、美術の世界だけにとどまらず、社会性を持った美術作家としての意識

### 版画コース



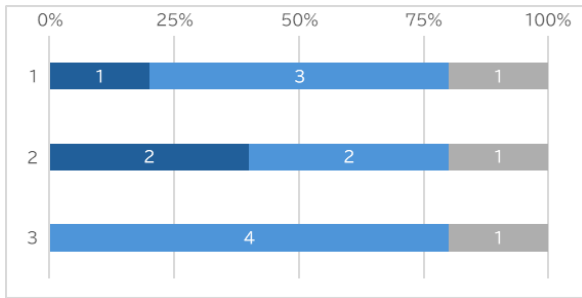
1. 自ら主体的に設定したテーマを基軸に研究制作に取り組み、美術作家として独創性に富んだ表現する力
2. 版画表現、または版概念に基づく美術の歴史や理論全般を深く理解したうえで、自らの作品制作はもとより、批評者の視点でも社会に対して強く発信する力
3. 作品制作における高度な創造性を獲得した上で、社会人として柔軟な視点で物事の状況を見極めながら、自らの知見や経験をもとに社会に対して貢献し、還元する力

### 彫刻コース



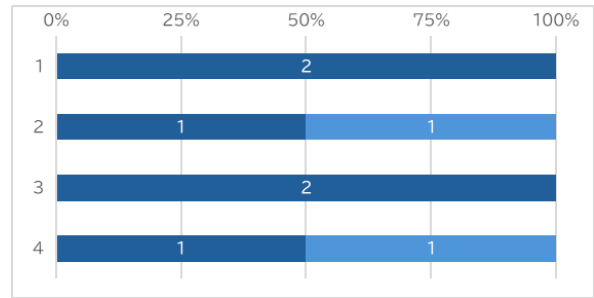
1. 彫刻制作における優れた表現技術の探究と作品に実現する力
2. 自身の作品制作をふまえた美術史、美術理論への幅広い知識と独創的な見解
3. 独自の表現を理論的に展開する力
4. 自立した美術作家として、主体的に社会と関わる意識、批評的視点

## 芸術文化政策コース



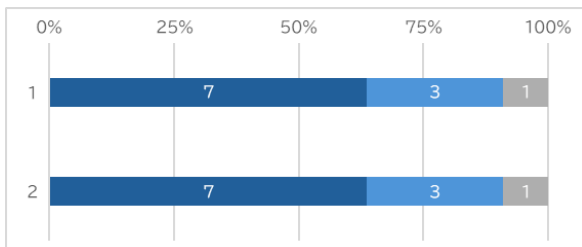
1. プランニング・マネジメント・ミュージオロジーの複合的な方法論と、芸術文化についての広範な知見をもとにした、芸術文化の社会活用に対する高い批評性を持った視点
2. 芸術文化領域における学際的な観点と、理論・実践の両面を重視した越境的な方法によって、芸術文化の社会との関係性を踏まえた課題意識に立脚した、独自性のある研究と論理的な論文を執筆する力
3. 自己の研究成果の社会的な意義を客観的に把握して、適切な発信と実践への活用を実現するための知識・能力

## 美学美術史コース



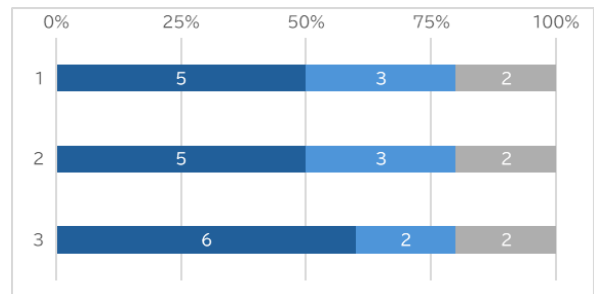
1. 造形芸術に関する広範な知識を持ち、美学・美術史研究の基礎的な方法を習得
2. 研究対象とする美術作品の観察・分析と、関連資料や先行研究の的確な理解に基づいて、論理的な考察を行う力
3. 自ら研究テーマを設定して、学術的な方法による調査研究を行い、独自性のある成果を導く力
4. 調査研究によって得られた新しい知見を学術論文として提示するための論述能力と表現力

## 視覚伝達デザインコース



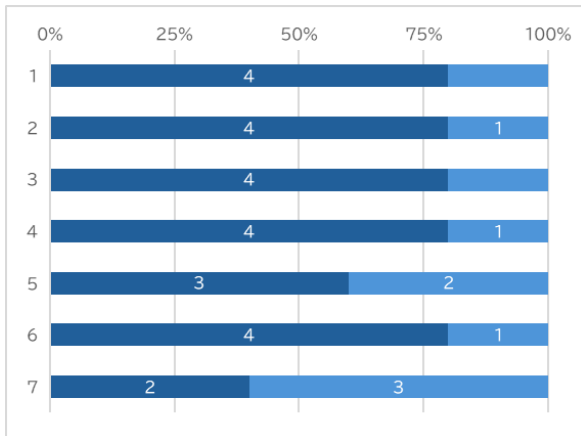
1. デザインの今日における社会的問題、社会的な要請に対して、高度な意義を持った、論文・制作テーマを展開する力
2. デザイン研究対象に対し、独創的な観点、独自性を有した方法論的展開を持った、論文・制作を作る力

## 工芸工業デザインコース



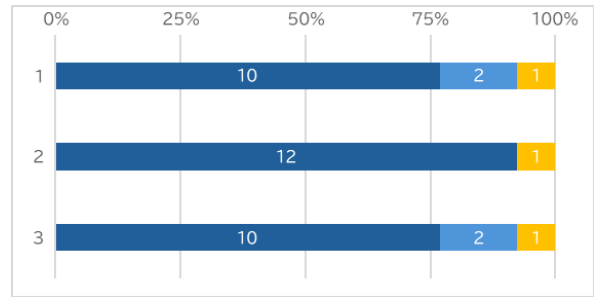
1. 独自性の高い提案性、デザイナー、表現者としての高い造形力
2. 多様化するデザイン・アートの表現に対して幅広い知識を有し、俯瞰して自身のデザイン・表現がどのような立ち位置にあるのか理解する力
3. 自身のデザイン・表現が自己で完結することなく、社会に対して発信し、関わりを生み出す力

## 空間演出デザインコース



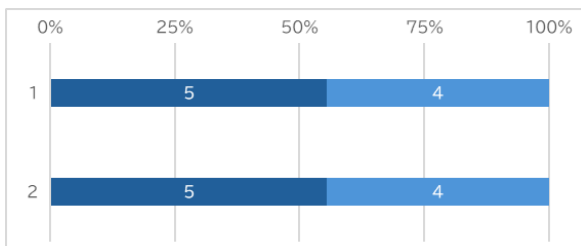
1. 専門的知識と、調査・研究のための方法・技能を系統立てて身につけること
2. 芸術全般についての幅広い教養と理論、造空思考力
3. 表現者として、芸術全般についての幅広い教養と理論、造空思考を基礎とした批評性
4. 他者や異文化に対する鋭敏な感受性と深い理解力
5. 調査・研究の成果と自分の知見を構築した総合的な表現力
6. 社会と芸術における新たな課題を発見し、制作表現を通して解決の道筋を構想できる力
7. 高度な専門性と深い学識、教養、国際性、表現力に基づいて、独自性を備えた制作表現ができる力

## 建築コース



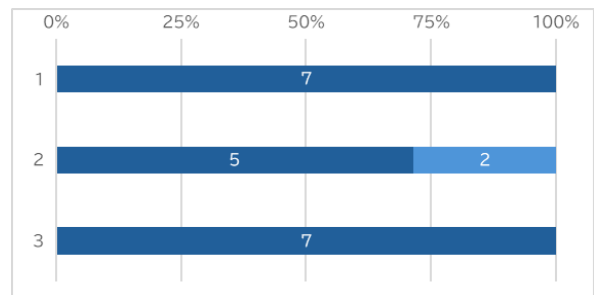
1. 批評に耐える制作・研究のテーマをもつ力
2. テーマを展開する際の高い創造性・独自性
3. 高い完成度の制作・研究を行う力

## 基礎デザイン学コース



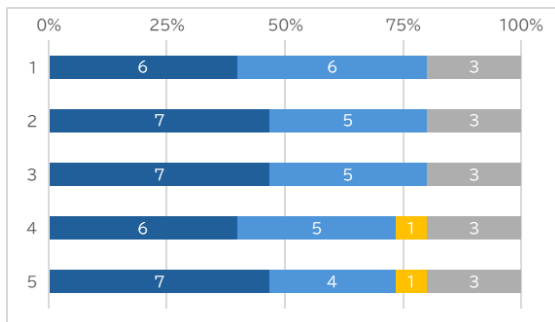
1. 研究的視点に基づく制作、あるいは制作の基盤となる研究を行う力
2. 社会的・人間的・文明的な文脈の中にデザインの研究と応用領域を自ら拓く力

## デザイン情報学コース

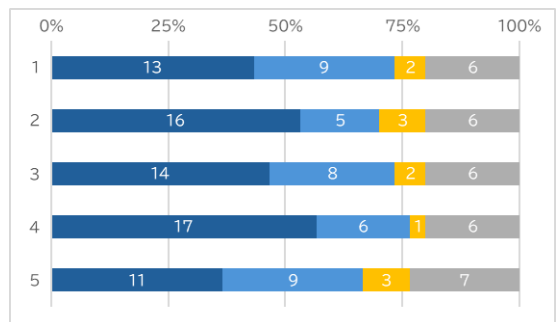


1. 自己の研究・制作に関連する領域を独自の新規性のある視点で捉え、研究を進める力
2. 主体的に論文執筆もしくは作品制作、またはその複合的な成果として具体的に体现し、社会へ向けて発表・発信する力
3. 現代社会のさまざまな事象を情報学の視点から分析し、デザインの思考で再構築し提示する力

### クリエイティブリーダーシップコース



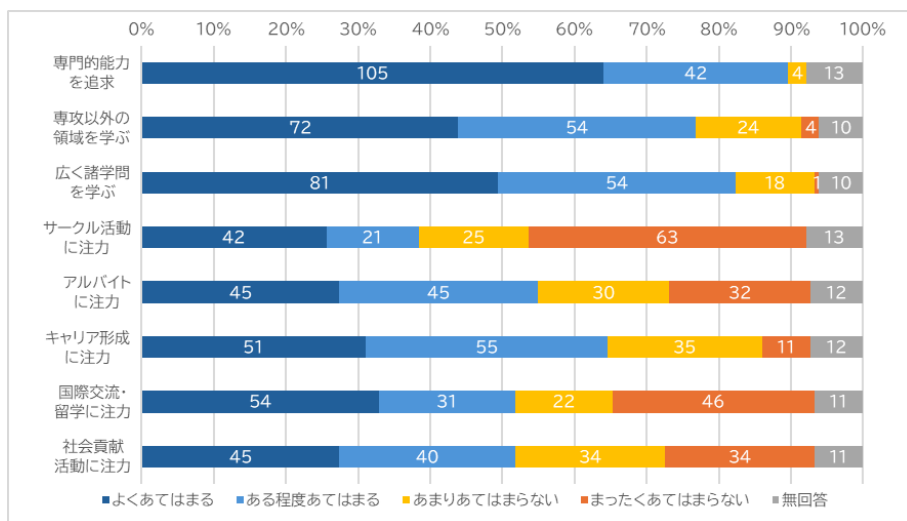
### 映像コース



1. 社会課題や未来の可能性に対して独自の問いを立て、従来の枠組みにとらわれない創造的な視点から、新たな価値や仕組みを構想できる力
2. 実社会におけるフィールドワークやプロトタイプングを通じて、社会的文脈に根ざした実践力
3. 自らの研究・実践にふさわしい方法論を選択し、理論と実践の往復によって専門的な知見を深めること
4. 自身の構想や実践内容を、適切なメディアや言語によって明快に伝達し、批評的視点からふりかえり、他者との対話や協働を促進できること
5. 領域を越えた知識・人・実践を結びつける視野と態度をもち、継続的な社会変革や創造的活動に向けた探究心と実行力

1. テーマや表現・研究についての深い考察と理解、客観的な視点にも耐えられる独自性、新規性、訴求性、社会性
2. テーマとメディア表現との関係性において、実践・研究を通じて十分な検証を行う力
3. 自らが選択したメディアと目的、方法、プロセス、結果等を照らしながら客観的な視座にたち、批評すること
4. 研究・制作活動を通じて創造的思考力を深め、実践と論理が成果に反映すること
5. メディアの歴史や背景などを十分理解し、学内外の評価に耐える完成度または成熟度

### 9. 学修・学生生活についてどのように感じていますか。【大学院】



以上